

Title	医薬品開発プロジェクトの価値予測モデルによる低収益市場の分析
Sub Title	
Author	三谷博(Mitani, Hiroshi) 姉川知史
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2001
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2001年度経営学 第1724号 連絡が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002001-1724

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	姉川 研究会	学籍番号	80028871	氏名	三谷 博
(論文題名)					
医薬品開発プロジェクトの価値予測モデルによる 低収益市場の分析					
(内容の要旨)					
<p>本研究では、医薬品の市場としてこれまで重視されてこなかった、相対的に購買力の低い低所得国を検討する。</p> <p>低所得国での医薬品ビジネスは採算性が悪く、本格的参入を研究開発指向型の医薬品企業は志向していない。しかし、医薬品企業への医薬品供給の倫理的要請や、既存市場の飽和などから、医薬品の市場として低所得の国々を検討すべき時期に来ている。このため、販売価格が低くなると想定されるこの市場の特性を明らかにする。</p> <p>具体的には、低所得国を念頭に置いた低販売価格に特徴づけられる低収益市場向け医薬品と、これまで医薬品企業が対象にしてきた市場向け医薬品の、正味現在価値の分布をモンテカルロシミュレーションにより推定することを主眼とする。またその結果から医薬品企業が低収益市場に対してとるべき戦略を検討する。</p> <p>モンテカルロシミュレーションの結果から、低収益市場の以下のような特性が確認できた。</p> <ul style="list-style-type: none">• 低販売価格に特徴づけられる低収益市場においては、大勢では正味現在価値の期待値は低下する。• 販売価格が低価格になるにつれ、正味現在価値が最も期待される水準を大きく下回る可能性が高くなる傾向がある。 <p>このような結果から、この市場に医薬品企業が参入するには、この市場の収益水準の改善と大きな損失をした場合への準備が必要であることが判明した。</p> <p>収益水準の改善としては、現行の10%以下という低販売価格を想定した場合、1医薬品につき販売期間中概ね年額50億円の補助を受けると、現行市場向け医薬品の正味現在価値と同等になることが判明した。</p>					